

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 08123615 A

(43) Date of publication of application: 17.05.96

(51) Int. Cl.

G06F 3/033

(21) Application number: 06281370

(22) Date of filing: 20.10.94

(71) Applicant: OKI DENSEN KK

(72) Inventor:  
TOMIKAWA ARIFUMI  
IKEDA HIDEKAZU  
NAKAMURA MASANORI  
MUNEZUKA KEIJI

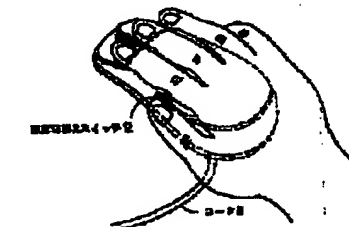
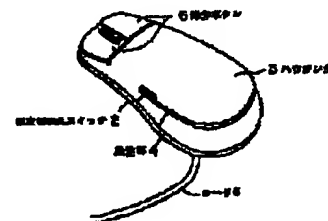
## (54) MOUSE THAT CAN BE SWITCHED IN SENSITIVITY OVER MOUSE OPERATION

## (57) Abstract

**PURPOSE:** To prevent the operator from feeling fatigued and improve the operation efficiency by providing a step part at the rear part of the housing of a mouse so that a sensitivity changeover switch can be operated with the thumb.

**CONSTITUTION:** The step part 4 is provided at the rear part of the housing 3 of the mouse so as to operate the sensitivity changeover switch 2 with the thumb as a result of human engineering. Providing this step part 4 enables the operator to operate the operation buttons 6 with the index finger and middle finger while moving the mouse 1 and also operate the sensitivity changeover switch 2 with the thumb at the same time. A natural fitting feeling is obtained since the design is slim, so the operator does not feel fatigued even after long-time operation and the operation efficiency is improved.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-123615

(43)公開日 平成8年(1996)5月17日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

G 0 6 F 3/033

識別記号

庁内整理番号

3 4 0 C 7208-5E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平6-281370

(22)出願日 平成6年(1994)10月20日

(71)出願人 390002598

沖電線株式会社

神奈川県川崎市中原区下小田中2丁目12番  
8号

(72)発明者 富川 有文

神奈川県川崎市中原区下小田中2丁目12番  
8号 沖電線株式会社内

(72)発明者 池田 英一

神奈川県川崎市中原区下小田中2丁目12番  
8号 沖電線株式会社内

(72)発明者 中村 政宣

神奈川県川崎市中原区下小田中2丁目12番  
8号 沖電線株式会社内

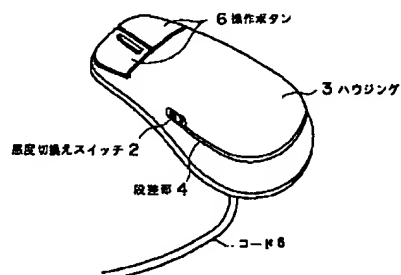
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 マウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス

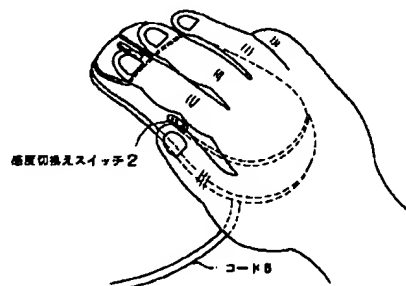
(57)【要約】

【目的】 主として、パソコン等のコンピュータに接続され、画像表示されたマークを動かして指示する為に使用されるマウス（面の上を移動させて操作する手持ち式の位置入力装置）の感度切り換えスイッチ機能付きマウス1に関し、製造が容易で疲れを感じさせず、操作性に優れ、作業能率UPの向上に寄与するばかりでなく、マウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1の提供。

【構成】 人間工学の迫及により、親指で感度切り換えスイッチ2を操作出来るようにマウスのハウジング3の後部に段差部4を設けたことを特徴とするマウスと同時操作が可能な感度切り換えスイッチ機能付きマウス1。



(イ) 本発明のマウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1の斜視図。



(ロ) その使用状態を示す斜視図。

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 マウスのハウジングの後部に段差部を設けたことを特徴とするマウスと同時操作が可能な感度切り換えスイッチ機能付きマウス。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、主として、パソコン等のコンピュータに接続され、画像表示されたマークを動かして指示する為に使用されるマウス（面の上を移動させて操作する手持ち式の位置入力装置）の感度切り換え

【0002】

【従来技術とその課題】従来のマウスには、通常、感度切り換え機能が付加されている。これは、マウスを同じ距離だけ移動させたときに、パソコンの画面上のポイントの動きを速くしたり、遅くしたりする機能である。従来の感度切り換えスイッチ機能付きマウス1'は、図2から明らかなようにマウスの裏面（図示せず）やハウジング3'の側面に無造作に配置されているので、マウス操作をしながら同時に感度切り換えスイッチ2'を操作することが出来なかった。すなわち、マウス操作と感度切り換え操作を別々に操作しなければならず、面倒で時間が掛かるという欠点があった。

【0003】本発明は、これらの欠点を解決する為に、鋭意検討した結果、製造が容易で疲れを感じさせず、操作性に優れ、作業能率UPの向上に寄与するばかりでなく、マウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1の提供を目的としてなされたもので、その要旨とするところは、人間工学の追及により、親指で感度切り換えスイッチ2を操作出来るようにマウスのハウジング3の後部に段差部4を設けたことを特徴とするマウスと同時操作が可能な感度切り換えスイッチ機能付きマウス1である。

【0004】

【実施例】以下、本発明のマウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1の実施例を添付図面を参照して詳細に説明する。図1（イ）は、本発明のマウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1の斜視図、図1（ロ）は、その使用状態を示す斜視図である。本発明は、人間工学の追及により、親指で感度切り換えスイッチ2を操作出来るようにマウスのハウジング3の後部に段差部4を設けたことを特徴とするマウスと同時操作が可能な感度切り換えスイッチ機能付きマウス1である。図から明らかなように、マウスを動かしながら、

人差し指と中指で操作ボタン6を操作したり、親指で感度切り換えスイッチ2を同時に操作することが可能となる。このように、本発明は、スマートなデザインにしてあるため、極めて自然なフィット感を有しているもので、長時間の作業でも疲れにくい。尚、本発明のマウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1と従来のマウスを操作性の面で比較した結果、従来のものに比べて、約1/5の時間短縮が可能となり、作業能率UPの向上に寄与する。

【0005】本発明の実施例では、マウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1を代表例にとり説明してきたが、図示したようなスマートなデザインに限るものではなく、設計上本発明の範囲内で各種の変形を含むものであることはいうまでもない。

【0006】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明のマウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウスは、

1. 製造が容易である。
  2. 疲れを感じさせず、操作性に優れ、作業能率UPの向上に寄与する。
  3. マウス操作をしながら、感度切り換えスイッチが同時に出来る。
- という優れた効果を奏することが出来るので、その工業的価値は大なるものがある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】（イ）本発明のマウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1の斜視図。

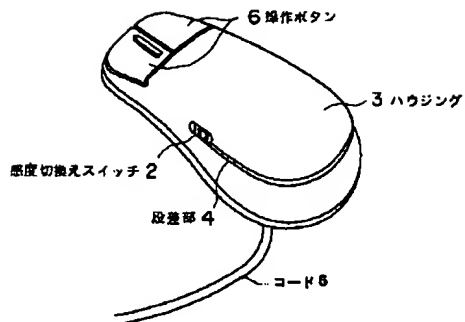
（ロ）その使用状態を示す斜視図。

【図2】従来の感度切り換えスイッチ機能付きマウス1'の斜視図。

## 【符号の説明】

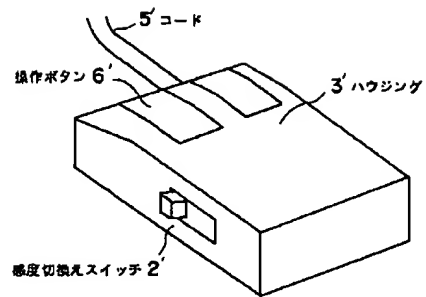
- 1 本発明のマウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス
- 2 感度切り換えスイッチ
- 3 ハウジング
- 4 段差部
- 5 コード
- 6 操作ボタン
- 1' 従来の感度切り換えスイッチ機能付きマウス
- 2' 感度切り換えスイッチ
- 3' ハウジング
- 5' コード
- 6' 操作ボタン

【図1】

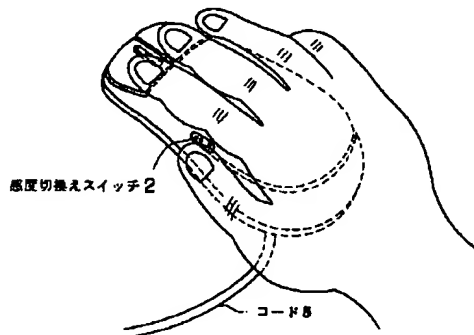


(イ) 本発明のマウス操作をしながら同時に感度切り換えが可能なマウス1の斜視図。

【図2】



従来の感度切り換えスイッチ機能付きマウス1'の斜視図。



(ロ) その使用状態を示す斜視図。

フロントページの続き

(72)発明者 宗塚 啓司  
神奈川県川崎市中原区下小田中2丁目12番  
8号 沖電線株式会社内